

糸島の歴史的風景を語る

丸山・西谷先生が講演

1月24日、伊都文化会館大ホールで「糸島の歴史的風景」講演会が開催されました。
最初に、九州大学名誉教授で交通史研究会会長の丸山雅成先生が、原田氏の盛衰や秀吉の朝鮮出兵の謎などを紹介。続いて、同大学名誉教授で九州歴史資料館館長の西谷正先生が、邪馬台国時代に伊都国と並び存在した斯馬国(志摩)の役割、律令国家時代の怡土郡と嶋郡の役割などについて講演されました。

講演後、「伊都国と斯馬国の国境はどこか」や「糸島水道の存在」などについて質問があり、熱心にメモを取る人の姿が見られました。



聴衆からの質問に答える丸山先生と西谷先生

糸島市からも3選手

東福岡高校ラグビー部全国制覇

福岡市博多区の東福岡高校ラグビー部は、第89回全国高校ラグビー大会で1月7日、2年ぶり2度目の優勝を果たしました。

糸島はラグビーが盛んで、今回のメンバーに、志摩中出身の山北純嗣君(志摩西貝塚)と友尾龍二君(志摩桜井)、前原中出身の福有諒君(南風台)の3人が主力選手として活躍しました。

今回のチームは、春の選抜大会も制するなど、この1年間の国内チームとの対戦結果は、30勝無敗。史上最強のチームといわれています。

この3人の選手は、高校を卒業後に大学進学予定で、関東や関西での活躍が期待されます。



左から福有諒君、山北純嗣君、友尾龍二君

糸島自慢の歌声を披露

今回のゲストは九大生

1月24日、糸島市前原公民館で第14回伊都の国合唱交流会が開かれ、6団体のコーラス隊が自慢の歌声を披露しました。

ゲストに、九州大学混声合唱団に所属する9人のメンバーM・S・C(3回生)が参加し、洋楽を中心に曲を披露。学生たちは「移転したばかりの伊都キャンパスは、まだ地域との交流が少ないので、こういった機会をたいせつに、もっと交流を深めたい」と語っていました。

合唱交流会は、コーラス隊だけではなく全体合唱もあり、参加者の楽しい歌声が前原公民館を包み込んでいました。



ゲストの九大生が若い歌声で地域と交流を深める

地域の文化財を守れ

市内3か所で消火訓練

文化財防火デー(2月26日)の取り組みとして、糸島消防本部と糸島市消防団は、1月24日に雷山千如寺と桜井神社、31日には二丈深江の聖種寺で防火訓練を行いました。

雷山千如寺では、消防本部による施設内の防火装置などの点検の後、本殿西側から出火したという想定で、消火訓練が行われました。

火災を知らせるサイレンが鳴ると、地域の人たちが初期消火を始めます。間もなく、数台の消防車と消防団員が到着し、放水を開始。

参拝客も、避難・誘導に協力し、機敏な消化訓練が行われました。



地元と消防団、消防署の連携で、機敏な消火訓練

山盛りご飯に大にぎわい

淀川天神社の百々手祭り

五穀豊穣を願い、山盛りご飯を食べる「百々手祭り」が1月24日、二丈深江の淀川天神社で開催。これは300年ほど続く伝統行事で、大飯食らいは神社横の公民館で行われました。

氏子など約20人が、みそ汁と干物、クジラとセリの煮物、ダイコンと大豆の煮物をおかずにご飯を食べ始めました。お代わりをすると、山のようになり盛られたご飯が返ってきます。

この日は、7升のご飯を準備。給仕役は、みそ汁を注いだり酒を勧めたりしながら、お代わりのご飯をよそいます。その駆け引きの面白さに、参加者から笑い声が上がっていました。



大盛りのご飯を一生懸命に食べる参加者たち

車いす2台を寄贈

九州電力(株)福岡西営業所

車いす2台が1月21日、九州電力(株)福岡西営業所から、市に贈られました。寄贈されたのは、社内での130日間無事故(停電)表彰の副賞金を活用して購入されたものです。

所内で副賞金の使い道について協議し「地域のみなさんに還元することで、自分たちの士気も上がる」との結論に達し、車いすを市に寄贈することを決められました。

市役所では車いすの無料貸し出しを行っています。貸出期間は2週間以内。通院や旅行、自分の車いすの修理中などのときに利用できます。障害福祉課の窓口で申し込みください。



筒井糸島市長職務執行者(左)に車いすが手渡される